



第6回定期大会開催!

**安全の確立と、民主的企業内労働組合の構築に向け
組織拡大を加速させ、民主化闘争を完遂しよう!**

7月9日、中央本部は「第6回定期大会」を都内田町交通ビルに於いて開催し、大会構成員、来賓、傍聴を含め約60名が参加した。大会議長には、瀬藤代議員（新潟）が選出され、真摯な討議により、提起された平成30年度運動方針などの各議案、大会スローガン、大会宣言は満場一致で採択され、大会は成功裡に終了した。



本当の闘いは今から！企業内労働組合を築くため！



菅野執行委員長

菅野執行委員長は冒頭の挨拶で、民主化闘争・組織拡大について、会社とJR東労組の関係は破綻し、今、私たちは労政転換のステージに立っているとの認識を伝えるとともに、本当の闘いは今からであり、組合員一丸となって、各々のステージ・ピッチの場で、JR東日本の次の30年を担う責任ある企業内労働組合を築くために必ずや行動を起こして欲しい。闘う決意を示していたと訴えた。

来賓のJR連合 松岡会長は組織問題について、JR連合が民主化闘争を掲げて19年目でこの大きな地殻変動が起こった。JR東日本会社に対しては、主体的にイーストユニオンの運動を伝えることが大切。日本で一番大きな鉄道会社が、労働組合も無しに会社を回していくことが、それでいいのかということだと、私達へのエールと産別としての現状への苦言を呈した。



JR連合松岡会長

質疑では9名の代議員から発言があり、現在の組織情勢と組織拡大へ向けた決意、安全問題、業務に関する議論などを全体で確認し、国井事務局長の総括答弁の後、平成30年度運動方針は採択され、最後は菅野執行委員長の団結ガンバローで締められた。

私たちの総力をかけた闘い！その結果はこの1年にある！